05 主催者のあいさつⅢ

食べることができない状況、ご飯も十分に用意できていない、という状況でしたので、非常食を提供することになりました。こちらの方で１週間ぐらいは皆さんが軽食ができるように備蓄していますので、それを食べてもらっていました。

５時になると夜勤者が２名来るのですが、合わせても少人数だということで、そのうちに応援の職員も来てくれました。実際、広範囲な地震、震災ということで道路状況も悪く、駆けつけてくれた職員についても少人数だったと思います。そんな中で食事の対応や環境を整えた苦労があったそうです。

あとは停電、断水というところもあったのですが、停電についてはこちらの方で非常電源を作動しまして最低限の電源は確保できていました。が、やはりトイレの配管が破損して、最初の頃はタンクに残っていた水で流していました。それがなくなると流せないということもあり、非常用のトイレを使ったりとか、おしっこを固める粉を入れて処理をしたりしていました。

簡単なところはそんなところでしょうか。職員に関しては、その日は勤務されていた方は家に帰らず、次の日も勤務していただいた、と聞いています。そんなところでしょうか。